

9/29宿泊税に係る宿泊事業者説明会 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
1. 実施すべき観光事業について		
B	・入湯税の活用について、橋立以外の温泉組合には以前は一銭ももらったことがなかったが大きな声を上げたら175万円の支援となった。 ・一市民としては大反対。どうせ使われるのは天橋立（府中と文珠）。	・平成25年に海の京都の取組が始まった際も、まずはということで日本三景天橋立を中心に始まり、お金が回らない中でギリギリでやらせてもらってる状況。 ・仮に宿泊税導入後は、財源配分を検討する中で、お世話になる由良の皆様にも活用いただけるような形を当然考えていく。
C	・入湯税分含めて余裕があると思うが、こんなに予算とってこれ以上何をするのか。 ・今でもやっているのは観光プロモーションぐらいで、増やすといっても具体が何も無いので、役所が予算だけ先に取って適当に使うみたいなやり方はどうか。使わなければならないところに使ってない。	・観光振興事業については、まだまだ十分ではなく更に推進が必要である。
D	・公共交通がない。タクシーで来てもらっているが、何か具体案はあるか。 ・魅力ある観光地づくり支援事業 海の京都エリアの他の団体との宿泊税導入の整合性は。 ・観光協会の運営体制の強化で4,000万円プラスだが、DMOと観光協会に釣船はどうかと声をかけたけど断られた。たいしたことやってないのでは？ ・事業費が足りないなら、まず既存事業の見直しもしてほしい。 ・使い道について納得できないから反対。やはり観光がメインだと、納得いくものではない。 ・宿泊事業者にとってより魅力あるものになるのなら賛成するが。	・公共交通について、観光客の不便なアクセス向上については、必要に応じてそうした事業には充てていくべしだが、まずはプロモーション強化等は必要と会議で意見が出ている。 ・宿泊税について、他の6市町はまだ検討はされてない。 ・魅力ある観光地づくりということでDMOについて、京都府と7市町が事業のメインの費用を折半して出している。宮津市が一番たくさんの負担金約1,800万円を出しているが、宮津市だけが使っているのではなく、DMOが宮津市も含めた観光振興の取組に使っている。 ・天橋立観光協会にざっと1,200万円を交付金として交付している。 ・取組方針1、2、3、4も、現在は各種団体の補助金、事業者の皆さんの支援、団体・協議会の負担金、一部看板の維持に充てているが、基本的には、観光協会、事業者支援がメイン。
E	・宿泊税を取る手間とお客さんの負担をかけてまで宿泊税を導入したら養老の何が良くなるのか知りたい。 ・宿泊税の使途が文珠天橋立だけだろうとすごく感じて、疑問に思う。 ・養老地区もPRして欲しい。 ・地域として平等に投資をしていただきたい。 ・導入はいろいろと考えて賛成できる点はあると思うが、冒頭に言われた宿泊税の早期導入という、施策の具体例はまだ出てない状態であやふやすぎて、早期という点は疑問。	・観光へのお金の使い方が橋立中心というご意見であった。我々市役所も事業に取り組む中で本当に頭を悩ますところだが、現在の予算1億にがしの観光費も国の事業も活用して確保している状況。 ・3年前から観光消費をより幅広い地域に普及させるため、養老、由良、上宮津等の地域コンテンツを磨き上げ観光協会を通じて外に販売する事業も取り組んでいるが、より多くの外の方に知って買っていただくための予算も正直まだまだ足りてない。 ・今回の増額分の予算でプロモーション経費も入っているが、例えば釣船等も観光協会HPで、養老にも非常に素晴らしいコンテンツがあると打ち出せるようお金を投資し、より多くのお客さんを養老エリア、橋立エリア以外のところにも連れていけるような施策を打っていきたい。
F	・6,000円でも高いと思うお客さんに説明するため、宿泊税導入の背景をきちんと教えていただきたい。 ・天橋立ではなく伊根に行くための足踏みで宮津に来る方が多いと感じており、料金を高くして宮津市の首を絞めていく結果にならないのか。 ・リバウンドの割合も少ないところからも、宮津市を魅力ある町にどのようにしていくかの検討をもっとしないと、税金ばかり取るのはお客さんが減る可能性もある。	(ご意見として伺いました)

9/29宿泊税に係る宿泊事業者説明会 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
G	・日帰り70%、宿泊客23%ということだが、今後の方向性として宿泊客を伸ばす方向で間違いないか。 ・小中学校の体験学習に来られる費用が1,870円で、200円の宿泊税がのっかると参加者に+10%の負担を強いることになるが、修学旅行や宿泊体験に来る学校は100円、200円がシビアで、200円の宿泊税により他の地域に行ってしまうことも十分あり得る。 ・宿泊を増やしたいのにまず宿泊税から始める理由が分からないので、宿泊を増やしたくて宿泊税を始める経緯を説明してほしい。	・令和8年度以降の宮津市観光戦略でも宿泊客を伸ばす方向で策定中なので、方向性については間違っていない。 ・宿泊客に税を負担いただくことを検討することになった理由について、いわゆる料金の勝負をしたいわけではなくて、今の橋立の日帰り客が多いのは橋立を見て終わってしまう観光だから宿に泊まらない。宿泊してもらって魅力を作っていくというのが市が考えている課題感。 ・より多くの時間を宮津で過ごしてもらおうための施策をしっかりと打っていくことを市の観光行政としてずっと考えている。 ・橋立府中以外の地域での体験コンテンツ、夜の砂浜ライトアップや花火など夜に体験できるものや、朝方に体験できるもの、養老地区であれば養老漁港の定置網体験もだが、朝にしか体験できないものを体験するために宿に泊まらなければいけないといったコンテンツを増やしていきたいというのが今の宮津市の行政が考えている対応策。 ・その投資を持続的にしっかり行うための財源がないので施策を打つための財源を獲得したいという流れで、今宿泊税の議論になっている。
I	・観光団体等で役をしており観光地づくりも関わっているが、資料の数字上では、観光協会の予算、観光に対する予算があるように見えるが、実際は駅の案内業務、人件費に消えている。 ・観光施策で使われるお金は、天橋立を見ると本当にわずか。 ・天橋立の知名度も、世間からのアンケートでも低いのが実態で、この地域が世界から選ばれる観光地域づくりを進めるために世界に打っていかないといけないが、その予算がほとんどないので、しっかり財源を確保して取り組むために、宿泊税はあり。 ・文珠や府中ばかりにお金が付くという話もあったが、文珠と府中の地元でイベント等含めてどれだけ努力をしているか、半端なくやっている。 ・作業もかなり多く、会員の皆さんに負担をかけながら、地域をどうしようか考えて行動しており、その割には逆に予算的には少ないというぐらい。 ・持続可能な観光地域づくりを進める上で、今までのように国からの補助金や短期的な予算での事業をやるのではなくて、計画性をもってちゃんと将来ビジョンが描かれるお金の使い方がこれから必要なので、自前で財源を持つということは必要。 ・お客さんからお金をいただくことで、逃げられるんじゃないかという不安もあるが、来てよかった、また来たいなと思ってもらえるよう、一般財源でなく観光に使っていただく形をお願いしたい。	(ご意見として伺いました)

9/29宿泊税に係る宿泊事業者説明会 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
J	・30年ペンをやらせていただいて今はコテージで、以前は天橋立のご利益を受けたが、今来るお客さんのほとんどは伊根の舟屋目当て。 ・息子たちはもう諦めてここでは期待できないからと伊根に友達と一緒にコテージを開業する様子。 ・宮津市の魅力ある観光は、もう景色だけではあかんと思うので、ここを何とかしていただきたい。 ・今日の観光税と違うが、ほとんどの方、伊根目当てと言われる方が多く、これは本当に問題だと思うのでよろしく願いたい。	・宿泊税を導入した暁にはしっかり活用ができればと思ってますので、ご協力をお願いしたい。
A	・観光施策に取り組む間に、潰れていくお店があったらどうしてくれるのか。 ・お金が先じゃなしに観光戦略っていうなら、お金がどれくらいいるのかももっと細かく出してくれないと納得できない。	(ご意見として伺いました)
G	・なぜ「財源が必要か」という理由が弱いと思う。 ・例えばオーバーツーリズムでこういう課題があるから、やっぱり然る税を取らなければとか、それでこれを解決していきたいというのがあると思うが、出発点がぼやっとしてると思う。	・宮津市が人口も減少し2040年頃には1万人を切りかなり厳しい状況になっていくので、できるだけ宮津市が持続できるようにしていくためには、主産業である観光業を主体に宮津の経済を発展させていく必要があり、やはり一定の財源も必要と考えて、こういった形でお話をさせていただいている。
2. 負担のあり方について		
B	・宿泊税ありかなとは思いますが、市が直接徴収することは現実的では無いと書いているが、何を言っているのか。 ・宿泊税を払いたくないと言われたら自腹きれとなる。 ・チェックアウトのときにNHKみたいに市が集金に来たらいい。 ・観光の課題は宮津市のオール観光でチャレンジしないとイケない。 →飲料組合、土産物、駐車場、観光業界の色々な業種からお金を取る方法も考えないのか？ ・曖昧なところからは取らずに宿泊者が一番分かりやすいからお前ら取れではなく、みんなで同じようにやっていかないとイケない。	・検討委員会でも観光税をすべきというご意見も出てましたが、なかなか現状では厳しいと言われている。 ・入域税というものもあるが、入域手段が飛行機や船に限られており、本市は車両、徒歩、自転車等多岐にわたり入域管理できないので無理。 ・駐車場・飲食・土産物購入についても市民と観光客の利用区分ができないので難しいため、一番最適なのは宿泊税という方向で検討が進んでいる。
C	・宿泊税と入湯税のダブル徴収はどうか。 ・入湯税は廃止できないか。 ・入湯税より宿泊税の方が金額が大きくなるから、宿泊税のできる範囲でやればいい。 ・入湯税の使途は一般財源化しているとは思えないので、もし両方やるなら温泉以外に使わないと変えてほしい。	・法定税である入湯税150円を優先的に徴収し、それでもなお足りていない中でどの財源がいいかと議論検討した中で、宿泊税を検討している。 ・任意の宿泊税の方が今から設定するものなので、それよりも優先して法定税の入湯税をなくすということは考えづらい。 ・宿泊税は国の審査があるので任意に課税したいからとできるものでもない。 ・入湯税を廃止して、宿泊税を導入するということは全国どこもやってない。 ・宿泊税を導入済み及び導入予定の全国24団体中1団体だけ下げているところはある。 ・入湯税は法定税という中で、3割は今までどおり環境衛生や消防の関係で使うが、残り7割はこれまで十分でなかった泉源維持にもしっかり活用していく必要がある。

9/29宿泊税に係る宿泊事業者説明会 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
G	・日帰り客から観光税を取るという検討はされたのか。 ・2025年2月に日帰りが350万人、宿泊が76万人という伊豆市で、市長が観光税として駐車場・大型のお土産屋さんから取れるような形を考えており、宿泊客だけに負担を負わしたくない経緯から日帰りの方も検討されているがまだ検討中で結果は出てない。 ・今回、観光の施策として宿泊税ありきではないならば、日帰り客の対策をどのようにされたのか。 ・宿泊税が取りやすいんだなと正直感じるが、そこはぜひ宿泊税に限らず、行政だけでなく事業者ももっと知恵を絞って、300万人来て、1人当たり100円だけでも3億円、1,000円で30億円となり税収にバックできると思う。 ・ナイトコンテンツを作っているが、やっぱり日帰りから滞在にという施策をオール宮津、丹後も含めてしっかりとお願いしたい。	・日帰り客に対する課税について、委員会の中でも議論されており、負担の公平性の観点から宿泊客のみならず日帰り客からの負担も考えるべきというご意見もあった。 ・検討委員会では、日帰り客から観光税を取ることは、徴収方法から考えると不可能で多くの自治体が宿泊税を導入しているのは徴税が可能だからであり、関所ではないが船や航空機で着くことで徴収可能な場合は成立するという意見もあった。
A	・日帰り客の方が多いので、観光事業税として飲食店や土産物屋等観光事業者から1,000円でも2,000円でも毎月納めていただくとか、別にできないこともないんで、他はやってない、無理という考え方は抜きにして、そういう税金の取り方を考えてほしい。 ・何泊も泊まれる方に200円と言えるわけないんで、絶対に自分のところで飲み込まないと駄目になるので民業圧迫になる。	(ご意見として伺いました)
A	・与謝野町や京丹後等宿泊税を入れてない側に泊まれたら本当に困るが、どう思われているか。 ・導入の影響がないならデータを示されたい。 ・宮津市民も大事にしてください。	・宿泊税を先行して導入されているところは、導入の影響はないと聞いている。 ・導入の影響について、当然委員会の中でも議論はしており、現時点では宿泊税に賛成も反対もないという中で、もし宿泊税を皆様にご協力いただくのであれば、200円負担が増えるために宮津には泊まらないでおいでではなくて、200円払っても宮津に泊まって良かったなと、200円ぐらいだったら全然払うよと言っていたような観光政策を考えるのが、我々の責任と考えている。
B	・宿泊業者以外のお土産屋さん等の他業種から、いかにして税金を取っていただくかという具体的な施策と金額を次回の会議に資料としてまとめて持ってきてほしい。 ・それと比較して、宿泊税が高いか安い、取るものかどうかということを検討するので資料作ってほしい。 ・観光協会の中でも、いろんな業種が集まって観光協会ができてから、その一括り一括りでいかにして税を取れるかいうことを、たたき台の資料として、次回の会議に持ってきてほしい。 ・市民も観光客も食事に行かれるところは、いくらか取れるので申告制にしたかどうか。	・税金ではなく観光協力金について、皆さんがやろうって言ってもらえたら、それが一番と思っていますので、その意見は持ち帰らせてもらう。
A	・当然事業してるのだから、ゴミ袋だったら昔みたいに事業者にはゴミ代を余分に取るとか、いろんな考え方があるので、お客様からだけ取るっていうのが不公平。 ・税金ではなく、観光協力金みたいな形でみんなが率先して集めるならそれでもいいんじゃないか。	

9/29宿泊税に係る宿泊事業者説明会 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
G	・今ある課題に対して税を取って解決したいものだと思うので、他にも税以外の手段があるかもしれないので、検討委員会の中でもしっかりと議論していただきたい。	・なぜ税なのかという質問について、やはり、地方公共団体ですので、基本財源というのは税だと考えている。 ・様々な形で、気持ちよくご負担いただけるような仕組みを我々としては模索をしていきたいということで、現在、検討委員会を開き宿泊税のあり方を検討している。 ・これで終わりではなく、今後とも皆様としっかりと意見交換をさせていただきながら、できるだけ多くの皆様に納得いただけるような、そういった結論をつけていきたいと考えているので、今後ともよろしくお願い申し上げます。
3. 課税要件等について		
B	・200円という税額の根拠。もっとしっかり示されたい。	・全国で宿泊税導入済・導入予定の24団体のうち、12団体が一律定額制であり、そのうち11団体が200円、そうした状況も勘案して案として示している。
C	・宿泊税については、子どもはどう考えてるのか。 ・宿泊料金で考えると、定率もしくは下限を設けた場合、現在税込み表示となっているので、税抜きにして宿泊税をかけるややこしいシステム改修が必要であり、切り捨て切り上げ等の判断は勝手にできないので、その指針を示してもらわないとシステム化はできない。 ・5～7割がキャッシュレスなので、クレジットの使用状況は統計を取ってくれ。 ・事務手数料に3%くると何かで見たが、クレジットカードの手数料で3%かかるから相殺され入湯税みたいに持ち出しになって意味ないので、3%プラス手数料って考え方にすれば損をしないんで協力しようかなと思う。	・宿泊する場合に、子ども専用の寝る場所があるかどうかで判断してもらおうというのが先行事例である。 ・切り捨て切り上げ等の判断の指針は細かなところでお示しさせていただく。 ・申し上げた交付率は、あくまでも先行事例で多く採用しているのが2.5%プラス0.5%、3%で、実際検討していく際にはそのあたりも考える。
D	・ほとんどが釣船の人、仕事の方もいるが、観光以外の目的の方から宿泊税を取るという点の考え方は。 ・事業者支援について、現在ではできていないが今度宿泊税を取るにあたり、力を入れていこうということで理解した。	・宿泊税の課税自体は、宮津市内の宿泊施設に泊まれる宿泊者という定義になるので、どういう目的で来られるか分からないが、泊まるという行為に対して課税するので、ご理解いただくのは難しいかもしれないが、対象はそうなる。
E	・簡易宿所・家族経営だと自分も含め家族の誰か1人が事務をされている宿が多いと思うが、今でも事務作業が逼迫している中で月1回申告の宿泊税が追加されるのが不安を感じている。自分よりさらに年齢の高い方が経営されている宿と話す、宿泊税が導入されたら廃業するという方もいる。 ・納税の申告方法を具体的に知りたい。 ・申告方法について、きっちり検討し噛み砕いた言葉で説明書を持って説明して欲しい。 ・観光客以外のお客様に対する宿泊税は合理性がないので納得できないし、宿泊税の説明をするのは事業者なので、(観光以外の)お客様にも説明できるようしっかりと提示して欲しい。 ・京都市内の修学旅行生みたいな免税点について、観光以外の方は宿泊税が課されないところを作っていただきたい。	・月毎の申告が基本だが、他市町では年間の宿泊税の収納額が120万円以下で滞納がない場合等いくつか要件を満たす場合は、3ヶ月に1回の年4回申告納付という手法を用いており、この手法も検討している。 ・入湯税もやっていただいているが、基本は申告書に書いて、月1回か3カ月に1回申告いただき、納付書を発行するので、それで納入していただくのが基本。 ・申告方法の説明書等の作成対応については承知した。 ・宿泊行為に対して課税させようので、確かにビジネスで来られた方のゴミ処理等にも税金を使う行為にもなっており、観光客でなくてもそうした必要があるのはご理解いただきたい。

9/29宿泊税に係る宿泊事業者説明会 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
F	・宿泊料金6,000円/人のうち、仲介業者の手数料差引後、5,820円/人が収入。 ・一律200円でやる考え方は納得できない。 ・民泊は2ヶ月に1回報告が必要なので事務が増えるのはしんどい。 ・収入が少ないのに事務が増えるのは大変なので、事務的なことがもっと軽減されるように考えてほしい。	・いただいた意見のように、委員会の中でも宿泊料が低廉な宿泊施設の利用者に配慮を要すべきとして免税点を設け〇〇円未満であれば税金をかけないというA案の一方、今まで作ってきた観光地がより魅力ある観光地であり続けるために全ての宿泊施設の協力によって実施すべきだという一律定額制のB案の意見もある。
I	・お金をいただくにあたって煩雑な作業、労力も関わって来るので、計画で設けてあるが、負担感があるので十分な配慮をお願いしたい。	・（ご意見として伺いました）
4. 検討の進め方について		
A	・検討委員会に要望書を出した人が入っているのはおかしい。 ・推進委員会みたいなので、中立の立場の委員で再構成し、より多くの宿泊業者の意見を聞いてから議決してほしい。 ・旅館組合の組合員だが、要望提出にあたって一度も意見を聞かれたことがなく、総会で決議されたそうだが議案にも議事録にも載っていないので、旅館組合の総意ではない。 ・委員にもなっているJTBが宿泊税導入の手順書を出しているが、その手順どおりに進められているように見え、学者2名も京都市の宿泊税導入にも関わっており、導入ありきに見える。	・検討委員会は観光全体の話と宿泊税等の検討ということで、宿泊税ありきで始まった訳ではない。 ・観光と宿泊税は必ず関係するところなので、どこかしらの団体の関係者からお話を伺うことは不可欠。 ・確かに要望いただいた2団体が委員に入っているが、観光振興と宿泊に関することが多くなるので、その関係者は不可欠であり、その他に簡易宿所経営者、商工会議所、旅行会社、市民の代表者2名、大学の有識者2名の計9名で構成している。 ・事務局としても一から議論いただくということで、最初の委員会でも宿泊税の導入ありきではないと説明している。 ・先行導入の市町は分からないが、JTBからノウハウを得たことは一切なく、市独自で研究して進め方を決めている。
F	・12ページ(2)の導入が令和8年度以降というのは、まだ決定ではないのか。 ・R8年度以降に導入というのは早急なのでもっと議論して、もう少しゆっくり検討してほしい。 ・検討委員の中に民泊業者が何人含まれるのか。 ・民泊業も1人入れていただいたらいいと思ったりもするし、いろいろ検討いただいて進行してほしい。	・産業経済部でもっている宮津市観光戦略に基づいて、観光振興を行っており、現行が令和7年度までの計画で、次の計画が令和8年度以降であることを記載しているのであって、宿泊税の導入が令和8年度ということではない。全然決まっていない。 ・検討委員会委員に民泊経営者はいないが、簡易宿所の方がいる。
H	・宿泊税の検討について、全く知らなくて、今年初めて坂元家から聞いたが、いつから始まっているのか。 ・合理性を求める宿泊税を取るならば、小さい宿泊施設にもわかるように話を持ってきていただかないと、何も分からない状況で税金を取られることになりそうだったのですごく怖かった。 ・事業者の負担ばかりがかかる話なので、もっとこういう話は前からいただきかった。 ・アンケートは確認しており、書かせてもらった。 ・初めて話し合いの場に出させてもらい資料で細かく見たが、なんか不公平というか、もっと細かく知りたい、もっと早めに知りたかった。	・検討委員会を立ち上げたのが今年の5月。 ・その前は、令和2年に市税等のあり方検討委員会の中で、宿泊税、入湯税も含めて財源の検討がなされてきた。 ・今年の6月に宿泊税のアンケートのご協力をお願いしますというような文章を出し、趣旨も書いたのが初めてであった。 ・事前に宿泊施設全般に周知できていなかったのはこの場をお借りしてお詫びする。 ・本日いただいた意見については、検討委員会でも報告する。

9/29宿泊税に係る宿泊事業者説明会 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
A	・第4回で検討委員会は終わりなので、答申して議会通して決めるような段取りになっているのではないか。 ・強制的な税金という重荷をもう少し考えて、もっと慎重に進めていただきたい。	・今回説明会でいただいた意見を第4回目の検討委員会の方で披露し委員の皆様方で再度意見交換するので、最後のまとめが終わったわけではない。 ・第4回で議論が終わりとなれば、その会議は終わりだが、議論が尽くされてないということであれば、さらに延長される。
A	・第3回検討委員会の傍聴時に先生が「今日多数決で決めるのは嫌よ」と、本当に慎重に慎重にして決めないと駄目だよということ言われたが、検討委員会の中では進んでいっており、怖くなった。 ・民泊の方とかに30件ほど電話をかけたなら知らない方がたくさんおられたが、宮津市の方に聞くとアンケートを出しましたと。 ・私たちも忙しく仕事しててアンケートを見てない。それも駄目なのかもしれないが、私たちが30件電話できたんだから、宮津市さん、1件1件電話かけて皆さんに意見を聞くぐらいしないと。	・税金を市民の皆さん、観光客の皆さんから、決して好き好んで取りたいと思っているわけではないことを前提としてご理解いただきたい。 ・市役所の行政としては、当然教育とか福祉とか行政がやるべき施策がたくさんある中で、宮津市は観光の産業が一番大きいので、観光には非常に大きい投資をしている。 ・人口がどんどん減る中で、市全体の税収が当然下がっているのは宮津市に限らずだが、新しい観光の施策に打って出なければいけない、今まで以上のことをやらなければいけないから宿泊税を取るという話は当然ある一方で、これまでどおりの施策ができるかという、それも実は怪しい。 ・市民の皆さんのためにもっと使っていかなければいけない税金もあるので、宮津市民に負担をしてもらうのではなくて、皆様から取るというよりは宮津を楽しんで訪れてもらう方に少しだけのご負担をとというのが、宿泊税の発想のスタートだと思うので、少しだけのご理解をいただきたい。
A	・早期導入はなしです。 ・3～5件ですけれども、今日行きたいが仕事で行けない方の理解も得てから、よろしくお願いします。 ・足を運んでください。	・意見を賜ったので、次の第4回検討委員会の時に報告させてもらう。 ・スケジュール感は4回の会議として示したが、議論が尽くされてないと委員が判断した場合は5回、6回と続く。 ・少なくとも今回119名の事業者の方にご案内を出し、ここで初めて受け取っていただいたという確認もできたので、アンケートの時は大変申し訳なかったが、今後、情報のやり取り、あるいはご意見を聞かせていただくのは、この形がよいのか皆さんに見えていただけるような資料を付けて配る方がより周知ができるのか、考えさせてほしい。 ・今回も行けない方に対しては、別途意見を出していただくようお願いしており、またこういうところでさせていただけたらと思う。 ・皆さんに全員賛成をもらえるかどうかは正直難しいところはあるが、意見をどうやって取るかは、内部でも検討させてほしい。
D	・検討委員会の委員と事業者が話し合いをする場を設けてほしい。 ・税金は全く払いたくないという方はいないと思うが、内容が不十分なので納得いかない方が多いと思う。検討委員会へ持ち帰られて検討されるということだが、実務やる我々の意見もあるので、検討委員会と宿泊業者で検討することはできないのか。 ・こういう会議を2回、3回とやっていただきたい。	・話し合いの場の設置について検討する。 ・宮津の観光振興していくためには財源が必要な中、できるだけ多くの皆様に納得いただけるように、我々も検討委員会でもしっかりと検討して、皆さんの納得のいくような形で、今後とも進めていきたい。